

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330532122	保育実習指導Ⅱ Childcare training guidance Ⅱ	伊藤 久美子	✓		1	選択	3後期

科目の概要

DP①、②に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができ、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。
また、こどもの生活学科のDP「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成」を受け、6年間幼稚園教諭として保育現場で働いた経験を活かし、保育における具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。
特にこの科目では、現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付けるために、保育実習Ⅰでの保育所及び施設の実習経験、課題、既習の教科内容を踏まえ、子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解します。そして、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得します。また、保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得し、実習準備を計画的に行います。DP⑤DP⑦の社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付けることを目指します。

学修内容	到達目標
① 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 ② 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 ④ 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。	① 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解できる。 ② 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得できる。 ③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。 ④ 保育士の専門性と職業倫理について理解できる。 ⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にできる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト「幼稚園・保育所・認定こども園実習 パーフェクトガイド」わかば社、実習の手引き（授業内で配布）
 参考文献：「幼稚園教育要領解説書」「保育所保育指針解説書」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「遊びの指導 乳・幼児編」幼少年教育研究所
 実習教材：実習日誌「保育実習Ⅱ」授業内で徴収。

他科目との関連、資格との関連

保育実習指導Ⅱ（330532122）は学科専門科目の幼・保領域、実習領域に位置付けられ、保育実習Ⅰ（330522120）、施設実習（330531121）で修得した知識、実践力を基とし、保育実習Ⅱ（保育実習）（330532123）の基礎となる科目である。
 また保育実習指導Ⅱは、保育士資格必修科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・知識や技術の修得を目的にすることなく、自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。	・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。欠席した場合は授業内容の確認および配布物を取りに来ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	レポート		50	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)</p> <p>①保育実習による総合的な学びについて、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援を具体的かつ総合的に理解し実践できる。</p> <p>②保育の実践力の育成について、子ども（利用者）の状態に応じた適切な関わり、保育の知識・技術を活かした保育実践を具体的かつ総合的に理解し実践できる。</p> <p>③計画と観察、記録、自己評価について、保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善を具体的かつ総合的に理解し実践できる。</p> <p>④保育士の専門性と職業倫理を具体的かつ総合的に理解し実践できる。</p> <p>⑤事後指導における実習の総括と評価について、実習の総括と自己評価、課題の明確化を具体的かつ総合的に理解し実践できる。</p> <p>A(優)</p> <p>①保育実習による総合的な学びについて、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援を具体的かつ総合的に理解できる。</p> <p>②保育の実践力の育成について、子ども（利用者）の状態に応じた適切な関わり、保育の知識・技術を活かした保育実践を具体的かつ総合的に理解できる。</p> <p>③計画と観察、記録、自己評価について、保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善を具体的かつ総合的に理解できる。</p> <p>④保育士の専門性と職業倫理を具体的かつ総合的に理解できる。</p> <p>⑤事後指導における実習の総括と評価について、実習の総括と自己評価、課題の明確化を具体的かつ総合的に理解できる。</p>	<p>B(良)</p> <p>①保育実習による総合的な学びについて、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援を総合的に理解できる。</p> <p>②保育の実践力の育成について、子ども（利用者）の状態に応じた適切な関わり、保育の知識・技術を活かした保育実践を総合的に理解できる。</p> <p>③計画と観察、記録、自己評価について、保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善を総合的に理解できる。</p> <p>④保育士の専門性と職業倫理を総合的に理解できる。</p> <p>⑤事後指導における実習の総括と評価について、実習の総括と自己評価、課題の明確化を総合的に理解できる。</p> <p>C(可)</p> <p>①保育実習による総合的な学びについて、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解、子どもの保育と保護者支援を理解できる。</p> <p>②保育の実践力の育成について、子ども（利用者）の状態に応じた適切な関わり、保育の知識・技術を活かした保育実践を理解できる。</p> <p>③計画と観察、記録、自己評価について、保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践、保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善を理解できる。</p> <p>④保育士の専門性と職業倫理を理解できる。</p> <p>⑤事後指導における実習の総括と評価について、実習の総括と自己評価、課題の明確化を理解できる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」 ・授業方法について ・実習の意義と目的について ・実習の意気込みと自己課題	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・授業方法について理解できる。 ・実習の意義と目的について理解できる。 ・今後の実習に向けた意気込みと自己課題について発表できる。	(予習) 実習に関する自己課題をまとめる。 (復習) 実習に関する自己課題の改善方法をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「実習生の心構え、マナー」 ・実習生の心構え、マナーについて学び、自己課題を見つける。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・実習生の心構え、マナーについて身だしなみ、挨拶、言葉遣い、書類の提出方法について理解できる。	(予習) 教科書パート1「幼稚園・保育所・認定こども園 実習前に確認しておこう」を読んで既修の実習について復習する。 (復習) 実習生の心構え、マナーについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「教材研究1-1」 ・児童文化財「紙芝居」の魅力を学び、発表内容を創造する。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・児童文化財「紙芝居」の魅力を理解し、発表内容を創造できる。	(予習) 紙芝居の魅力について調べ、興味のある題材についてまとめておく。 (復習) 自分の制作発表する話の内容と構成を具体的に考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「教材研究1-2」 ・紙芝居の製作方法と発表について理解し、選択した題材で製作を行う。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・紙芝居の内容の構成を考えてまとめることができる。 ・デザインを考えて製作に取り掛かることができる。	(予習) 教材制作(紙芝居)に必要な準備物を揃える。 (復習) 教材制作(紙芝居)の製作を進める。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「教材研究1-3」 ・紙芝居の指導計画について理解し、指導計画を作成する。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・教材制作、指導案の作成を計画的に進めることができる。	(予習) 教材制作(紙芝居)を進める。対象年齢や、題材の内容を踏まえた「ねらい」を考える。 (復習) 教材制作(紙芝居)を完成させ、指導計画を作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「教材研究1-4」 ・教材制作(紙芝居)の発表をする。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・発表準備をして、発表を行うことができる。	(予習) 紙芝居の発表準備を行う。 (復習) 指導計画の評価・反省を書く。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「教材研究1-5」 ・教材制作(紙芝居)の発表を聞く。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・他者の発表から様々な紙芝居の魅力を学ぶことができる。	(予習) 指導計画を完成させる。 (復習) 発表レポートを完成させる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「保育実習Ⅱオリエンテーション」 ・実習内容、目的について理解し、保育実践内容の準備および実習に必要な教材の研究をする。 ・提出書類について理解し、準備をする。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・実習内容、目的について理解できる。 ・提出書類について理解し、期限を守って提出できる。	(予習) 保育実習Ⅱの目的についてまとめる。 (復習) 保育実習Ⅱの実習目標を考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「実習準備」 ・責任実習について理解し、保育内容の検討と教材の準備をする。 ・日誌の書き方について理解し、保育者の意図を理解した指導計画の立案のポイントを学ぶ。 ・実習目標の提出	オンデマンド google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。 notebook LM	・責任実習について理解し、準備できる。 ・日誌の書き方について理解することができる。 ・実習目標を提出することができる。	(予習) 保育実習Ⅰの日誌を復習する。 (復習) 保育実習Ⅱの日誌の書き方をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「教材研究2-1」 ・手作りおもちゃの魅力について理解し、製作物を創造する。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・手作りおもちゃの魅力について理解する。	(予習) 3歳未満児の発達について既習の科目から復習をする。 (復習) 紙芝居の魅力をノートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「教材研究2-2」 ・手作りおもちゃの発表の仕方について理解し、製作を行う。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・手作りおもちゃの発表の仕方について理解し、製作を行うことができる。	(予習) 製作に必要なものを準備する。 (復習) 手作りおもちゃを製作する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「教材研究2-3」 ・手作りおもちゃの製作と発表準備を行う。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・手作りおもちゃの製作と発表準備を行うことができる。	(予習) 手作りおもちゃを概ね完成させる。 (復習) 手作りおもちゃを完成させる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「教材研究2-4」 ・手作りおもちゃの発表を行う。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・手作りおもちゃの発表を行うことができる。	(予習) 発表準備をする。 (復習) 発表の振り返りをする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「教材研究2-5」 ・発表の振り返りをする。	演習 グループワーク google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・発表から様々な手作りおもちゃの魅力を学ぶことができる。	(予習) 発表の振り返りをまとめる。 (復習) 発表をみて学んだことをまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「実習準備のまとめ」 ・評価・反省、お礼状の書き方について学び、準備をする。	オンデマンド google classroomで課題に取り組み、フィードバックを行う。	・評価・反省、お礼状の書き方について理解し、準備ができる。	(予習) 教科書パート3「幼稚園・保育所・認定こども園 実習後に確認しておこう」を読んでお礼状の書き方を予習する。 (復習) 保育実習Ⅱの準備(実習目標、提出書類)の確認をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力